

教えて！ にちぎん

日銀の「広報」とは

日本銀行で広報を担当する父を持つ大学生の知子さんと中学生の学くん。これまで九回にわたって、日銀のさまざまな仕事について勉強してきましたが、今回は最終回、日銀の「広報」についてです。日銀をよくご存じない方も、気軽にお読みいただければ幸いです。より詳しい内容は、日銀 HP の「教えて！ にちぎん」や「対外説明・広報の概要」(<http://www.boj.or.jp/>) をぜひご覧ください。



日銀のホームページ

お父さん、インターネットで来週の天気を調べたついでに、日銀のホームページを見たよ。僕でも分かるような内容もあって、正直びっくりしちゃった。

そうか、日銀のホームページを見てくれたのか。でも「ついでに」とはひどいな。ただ、学が見たように、インターネットであれば手軽にいろいろな情報にアクセスできるので、日銀でもホームページを利用した広報活動を積極的にやっているんだ。学はどのページが面白かったかな？

「知るほどなるほど！ 日本銀行」というビデオを見たよ。

確かにそのビデオは中学生以上向けに作ってあるので、学にも内容が理解できただろう。ほかにも中学生以上を対象にした「Q&A(クイズ)」で学ぼう！ 日本銀行も分かりやすいと思うよ。

日銀のホームページでは本当にいろいろな情報を見ることができるのね。これまで、お父さんの紹介で日銀のいろいろな部署の方からお話を聞かせてもらったけれど、ホームページにも、日銀の

さまざまな業務についての基本的な解説から専門的なレポートまで、まさに何でもそろっていると感じるわ。

そうだね。トップページを見ると、「金融政策」「金融システム」「決済」「銀行券」などというように、日銀の業務別に公表資料が整理されているんだ。

それって、これまで私たちが勉強してきた日銀の仕事全体にわたっているということね。

それに、解説やレポートだけでなく、日銀の業務に密接な関係のある情報もホームページに掲載しているんだ。具体的には、日々の金融調節の内容、日銀当座預金残高の増減の実績や予想、決済の動向などのほか、各種オペレーションの対象先選定の基準、考査の実施方針なども公表している。その意味では、広報ツールであるとともに、実務家・専門家向けのツールともいえるね。近々、リニューアルも予定しているらしいよ。

統計も掲載されているのね。以前、経済学部友達とレポート作成のために日銀ホームページのデータを使ったと言って



バーチャル見学ツアー



「知るほど なるほど！ 日本銀行」ビデオ紹介

金融政策の情報発信

そういえば、昨晚のテレビニュースで総裁の記者会見の様子が流れていたけれど、その内容が、もうホームページに載っているのね。

金融政策決定会合の結果は、会合終了後速やかにホームページに掲載している。また、会合が終了したその日のうちに、総裁が会合の議長として記者会見を開き、決定内容やその背景についてマスコミ向けに説明するんだ。この記

者会見の内容は翌営業日中にはホームページに掲載されている。

そのほかにはどんなことをしているの？

日銀では法律の定めに従い、決定会合の議事の概要である「議事要旨」や議事をそのまま記録した「議事録」を公表している。また、半年ごとに「通貨及び金融の調節に関する報告書」を国会に提出するとともに、国会に対する説明を行っているんだ。

以前に政策委員会を訪問した時に教えてもらったわ。

そうだったね。

でも、そもそも、日銀がこういう仕事をしているのはどうしてなの？ 法律で公表が義務付けられているというのも不思議な気がする。

テレビのニュースでも日銀が取り上げられているんだから、そんなに広報しなくていいんじゃないの？

情報サービス局にいるお父さんの上司に当たる人を紹介するから、いろいろ聞いてみるわいいよ。その時に、普段見学で案内している場所を少しだけ見せてもらえるようお願いしておくよ。

いたわ。

日銀が統計を作っていることを以前勉強しただろう。日銀が作成した統計は、統計書のほかホームページでも公表しているし、「時系列データ」といって、過去からのデータをまとめてダウンロードすることもできるんだ。知子の友達はきつとこれを利用してたんだらう。

英語版のホームページもあるんだね。

日銀の仕事の内容は海外からも注目されているからね。毎年、日銀の業務内容を英語でまとめたアニメアル・レビュー (Annual

Review) も発行しているよ。

日銀の見学案内

ホームページにある「バーチャル見学ツアー」ってなに？

日銀内のたくさんの写真を見ていきながら、日銀の業務や歴史を知ってもらおうというコーナーだよ。普段の見学では入れない場所も写真で紹介しているよ。

日銀の中を実際に見学することもできるの？

あれ、二人はまだ日銀の見学をしたことがなかったのか。日銀の紹介用ビデオを見てもらった

後、重要文化財に指定されている本店本館の旧地下金庫、旧営業場などをガイド付きで見学回ることができるんだよ。

これまで何度も日銀に勉強しに行っているのに、そんな楽しそうなものを教えてくれないなんてひどいわ。

それは悪いことをしたな。年間約四万人の方が見学にいらしているんだよ。原則として月曜日から金曜日、一日四回の案内をしているから、次の春休みに学と一緒に行くてくるといい。見学希望日の三カ月前から一週間前まで事前予約を受け付けているよ。

者会見の内容は翌営業日中にはホームページに掲載されている。

そのほかにはどんなことをしているの？

日銀では法律の定めに従い、決定会合の議事の概要である「議事要旨」や議事をそのまま記録した「議事録」を公表している。また、半年ごとに「通貨及び金融の調節に関する報告書」を国会に提出するとともに、国会に対する説明を行っているんだ。

以前に政策委員会を訪問した時に教えてもらったわ。

そうだったね。

でも、そもそも、日銀がこういう仕事をしているのはどうしてなの？ 法律で公表が義務付けられているというのも不思議な気がする。

テレビのニュースでも日銀が取り上げられているんだから、そんなに広報しなくていいんじゃないの？

情報サービス局にいるお父さんの上司に当たる人を紹介するから、いろいろ聞いてみるわいいよ。その時に、普段見学で案内している場所を少しだけ見せてもらえるようお願いしておくよ。



知子さんと 学くんの 日銀訪問



【情報サービス局】
先日、お父さんから日銀の広報の概要について教えてもらった知子さんと学くん。今回は情報サービス局の大川さんを訪問し、話を聞くことになりました。

情報発信の重要性

神田知子と申します。こちらは弟の学です。本日はよろしくお願ひします。

ようこそ。お父さんにはいつもお世話になってます。今日はせっかくなので機会だから何でも聞いてください。

ありがとうございます。早速ですが、父から、金融政策に関するさまざまな内容の公表が法律で定められていると聞いたのですが、その理由について教えていただけませんか。

日銀は法律で金融政策の運営上の独立性が認められていますが、金融政策は国民の生活に大きな影響を及ぼすので、法律でも、「通貨及び金融の調節に関する意思決定の内容及び過程を国民に明らかにするよう努めなければならない」(日本銀行法第三条第二項)と定められています。

とても大事な責任があるんですね。まさにこのことは「説明責任」と呼ばれています。この説明責任を果たすために、金融

政策に関する内容のほかにも、日本銀行の決算等を記した「財務諸表」等や政策や業務も記載した「業務概況書」を公表することが法律で定められているのです。

でも、国民といっても日銀に詳しい人から、私みたいにまだまだよく知らない人もいるのでは……。

日銀が説明責任を果たすことは、簡単なことではありません。知子さんや学くんには日銀で働いているお父さんがいるので、いろいろな部署の人の話を直接聞けたかも知れませんが、誰でもそんな機会があるわけではないですよ。また、金融・経済の専門家の人もいます。このように非常に幅広い方々を対象とする活動となるため、さまざまな工夫を凝らしながら、より分かりやすく説明していくように取り組んでいます。

僕にも分かるビデオや見学コースもそのためですね。話が続いたので、気分転換に、見学コースでご案内している場所をいくつか紹介しましょう。

本店本館の見学

はい！
ここは本館二階の史料展示室です。ここには、日銀の歴史の中でその時々様子が分かる貴重な品々があります。昭和初期の総裁室を再現した部屋もあります。

まるで博物館みたい。
ここは本館二階の廊下ですが、ここには、日銀のこれまでの総裁の肖像画が展示されています。

今度は美術館のようね。
ここは、本館地下一階の旧地下金庫です。約六年前まで、一〇〇年以上の間実際に使われ



本館の廊下には初代から第26代までの総裁の肖像画がある

関東大震災をも耐え抜いた旧地下金庫



ていました。この扉の厚さは九〇センチ、重さは扉と外枠を合わせて二五トンあります。凄^{すご}い。さすが日銀の金庫だな。

さまざまな広報の仕事

ほかにもどのような広報活動をしているか教えてください。

日銀では、政策や業務に関する広報に加え、金融や経済に関する情報発信を含め各種の広報サービスも行っています。まず、各種の統計データ・統計書を作成・公表しているほか、ホームページを活用して、各種レポートや市場指標を公表しています。

ホームページ以外にもどのようなものがあるのですか。

季刊で発行している広報誌「にちぎん」やさまざまなパンフレットで金融経済に関する分かりやすい解説を提供しているほか、電話等を通じた照会や質問にも応じています。また、先程体験してもらった見学は、日銀の支店でも行っているんですよ。

貨幣博物館や小樽の金融資料館もありますよね。

よく知っているね。このほか日銀では、政策や業務に対する幅広い意見の聴き取り（広聴）にも努めています。このような広聴活動の一環として、四半期ごとに「生活意識に関するアンケート調査」を実施し、一般の方々の生活意識のほか、日銀に対する信頼度や認知度等に関する調査結果を公表しています。

大学の掲示板で「日銀グループ」のようなのを見ました。これも広報の一環なんですか？

日銀では近年、金融知識の普及や金融教育の充実にも力

を注いでいて、ホームページを通じた情報提供以外にも、大学生向けの小論文コンテストを開催したり、大学で講演を行ったりしています。また、日銀は、金融経済に関する情報提供や学

これまでの勉強を振り返って

大川さんを訪問した知子さんと学くんは、仕事の終わったお父さんと待ち合わせました。

お父さんお待ちませ。

今までずっと話を聞かせてもらっていたのか。大川さんからいろいろ教えてもらったかい？

うん。それに見学はとても楽しかった。

広報は、いわば日銀が外に開いた大きな窓ね。私たちはその窓を通して日銀のいろいろな仕事を知ることができる。これまで勉強してきたことを復習できたという意味でもとても参考になったわ。

さて、日銀の仕事についての勉強もこれでひと通り終わった感があるな。どうだった？

習支援を行う「金融広報中央委員会」の活動を全面的に支援しています。この委員会では、金融知識の普及および金融教育に関する各種プロジェクトに取り組んでいます。

日本銀行というと、教科書に書かれていることしか知らなかったけど、本当にいろいろな仕事をしていることがよく分かった。

それに、意外に僕らの生活に身近だったよね。

確かに。私ももうすぐ社会人だけど、これを機に、もう少し日銀に関心を持つべきだと思った。

そう言ってくれるとこれまでいろいろと説明してきたかがあるよ。でも、日銀の仕事は、社会のニーズに応じて変わっていくものなんだ。お父さんが働いている間にも本当にいろいろな変化があったよ。だから、勉強をこれで終わりにはせず、今後ホームページなどを通じて日銀の仕事を見ていってくれよ。

はい！